

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技規則について

本競技会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則および競技注意事項により行う。

## 2. 練習について

- (1) 練習は第二陸上競技場及び競技役員の指示する場所において、競技役員の指示のもとに行う。
- (2) 投てき及び跳躍競技は、競技役員の指示によりスタジアム内で練習を行う。

## 3. 招集について

- (1) 招集所は、第二陸上競技場用器具庫内に設ける。
- (2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準に、次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	30分前	20分前
フィールド種目	50分前	40分前

### (3) 招集の手順

- ① 競技者は、招集開始時刻に、招集所に掲示してある出場競技者一覧表に本人または代理人がチェック（自分のナンバーを○で囲む）をする。
  - ② 競技者は招集開始時刻には招集所で待機し、競技者係の確認を受ける。その際、ナンバーカード・競技用靴・衣類、その他携行品の商標・サイズ等について確認を受ける。
  - ③ 代理人による最終確認は認めない。但し、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに本人または代理人が競技者係に申し出ておくこと。
  - ④ リレー競技に出場するチームは、所定のオーダー用紙に記入の上、競技者係まで2部提出すること。（競技規則第170条 リレー競走）また、用紙については、プログラム末尾に付いているものを使用すること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
  - (5) 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
  - (6) 録画再生装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話・スマートフォンもしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことができない。
  - (7) 競技場所へは係員の誘導・指示により入場する。

## 4. 競技について

### (1) トラック競技について

- ① 不正スタートは、1回で失格とする。（競技規則第162条 スタート）  
小学生の部においては、この規則は適用しない。
- ② 短距離走においては、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- ③ 次ラウンドへの同タイム抽選を行う場合（100mのみ）、当該競技者または代理人がアナウンス後10分を経過しても集合しない場合は、棄権したものとみなす。

- ④トラック競技では大型スクリーンによる「ライブリザルト」で結果発表を行う場合がある。
- ⑤800m以上の競走種目では、腰ナンバー標識（カード）は主催者で準備する。必ず、返却すること。

## (2) リレー競技について

- ①リレー競技は同一のユニフォームを着用すること。色・デザインが統一してあれば、同一のもののみなす。
- ②レーンで行うリレー競技の競技者は、ダッシュマークとして自分のレーンにチョークや類似品を使わずに、最大50mm×400mmの粘着テープによって印を1ヶ所付けても良い。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。
- ③リレーチームの編成は、少なくとも2人は申し込み時のメンバーでなければならない。ラウンドを通過して後は、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。（競技規則第170条-10 リレー競走 [国内]）
- ④リレーチームの編成は一度、申告したら変更は認められない。申告後は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければ、チームは失格となる。（競技規則第170条-11 リレー競走）

## (3) フィールド競技について

- ①走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まるまでは下記の通りとする。

種目及び種別			練習	1	2	3	4	5	6	7	8～
走高跳	男子	一般	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	3cm 刻み
		中学	1.50	1.55	1.60	1.65	1.65	1.70	1.78	1.81	
	女子	一般	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	
		中学	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	
棒高跳	男子	一般	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	4.00	3.90	4.00	10cm 刻み
		中学	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	
	女子		1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	2.90	3.00	

- ②急な天候悪化などの不測の事態が発生した場合のバーの上げ方は、フィールド審判長（跳躍）の決定による。
- ③棒高跳の支柱位置の申請は、ピット到着後に競技役員が受け付ける。
- ④高校男子においては、砲丸投6.000kg、円盤投1.750kg、ハンマー投6.000kgの重量で、中学男子においては、砲丸投5.000kg、円盤投1.500kgの重量で競技を行う。
- ⑤試技に要する時間は、競技規則による。（競技規則第180条-18 総則ーフィールド競技）

## (4) 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。（競技規則第146条 抗議と上訴）

定められた時間内に、競技者自身またはチームを公式に代表する者が、総務に対してまず、

口頭で行い、指定された控室で待機する。

## 5. 助力について

競技場内において、助力（指示や助言等を含む）を与えたり受けたりしている競技者は、審判長によって警告され、さらに助力を繰り返すとその競技者は失格となる。フィールド競技に関しては競技役員の許可の下、スタンドのコーチとコミュニケーションをとることができる。ただし、競技役員の手配に従わない場合は助力を受けたものとみなす。（競技規則第144条 競技者に対する助力）

## 6. 競技用器具について

競技に使用する用器具は棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

## 7. 表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞者には、賞状を授与する。
- (2) 各種目の3位までの入賞者は、競技結果の発表後、スタンド第4会議室の表彰係まで、賞状を取りにくること。
- (3) 今大会の優秀競技者5名を選出し、トロフィーを授与する。

## 8. 一般注意事項

- (1) 徳島陸上競技協会以外の登録者の参加についても、県内登録競技者と同等の扱いとする。
- (2) 記録表（成績表）はメインスタンドの記録掲示場所に掲示する。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、本部の役員・庶務係に記録証交付願および交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (4) 大会期間中、競技場で発生した傷害や疾病は応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
- (5) 更衣は第二陸上競技場の更衣室（男女とも）を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。紛失、盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- (6) 大会期間中に主催者に届けられた物品（遺失物）については、一時的に本部にて保管する。  
大会終了後は、この限りではない。（管理事務所に問い合わせること）
- (7) 競技場は常に清潔保持に努め、ゴミ等は各自で必ず持ち帰り処分すること。
- (8) 駐車場については、県陸協HP等に掲載されている場所を使用し、近隣及び他の車両の迷惑にならないように注意すること。
- (9) 大会の動画や映像・写真については、主催者の許可なく第三者がこれを使用することを禁止する。（SNS等によって動画や画像を配信する行為も含む）